

10月例会

日時 令和元年十月十七日(木)

テーマ 変換期に直面するEU

講師 拓殖大学 政経学部 准教授

細井 優子 氏



細井 優子 氏

■略歴

2005年法政大学大学院社会科学部研究科後期博士課程修了。政治学博士。

埼玉大学基盤教育センター准教授を経て、2017年より現職。

EU公認研究機関ジャン・モネEU研究センター(慶應)事務次長・主任研究員を兼務。

専門は国際政治、EU政治。

Analysis

2019年(令和元年)6月11日(火曜日)

ほそい ゆうこ
拓殖大学 政経学部 准教授
政治学博士、専門は国際政治、EU政治

細井優子 拓殖大学准教授

欧州議会選後のEU ⑤

課題解決力・存在意義 揺らぐ

1. EU通常立法手続きのイメージ

2. 欧州議会選後の投票率

25年ぶりに50%を突破

ポイント

- 市民が直接構成員を選ぶ唯一のEU機関
- 立法過程や欧州委員任命などに影響力
- 官制の効率性に市民の拒否感一層強く

経済教室: 欧州議会選後のEU(下)課題解決力・存在意義 揺らぐ, 日本経済新聞 2019年6月11日 朝刊.

AFTER ユーロッパ

アフター・ヨーロッパ

ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか

EUROPE

イワン・クラステフ Ivan Krastev
庄司克宏……監訳

何が終わり、何が始まるのか?

難民危機 がどのように欧州社会を変えたか、
また、なぜ市民は
能力主義的エリートたちを恨んでいるのか、
本書で扱おうとする二つの問題である。(はじめに)より

岩波書店 定価(本体1900円+税)

細井氏共訳: アフター・ヨーロッパーポピュリズムという妖怪にどう向きあうか, 岩波書店 (2018/8/4)

2019. 11. 20

11月例会

日時 令和元年十一月二十日(水)

テーマ 日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学

講師 慶應義塾大学総合政策学部教授

小熊英二氏



小熊英二氏

■ 略 歴

1987年 東京大学農学部卒。出版社勤務を経て、1998年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。慶應義塾大学総合政策学部講師、助教授を経て現職。学術博士。

主な著書に『単一民族神話の起源』(サントリー学芸賞)、『<民主>と<愛国>』(大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞、日本社会学会奨励賞)、『1968』(角川財団学芸賞)、『社会を変えるには』(新書大賞)、『生きて帰ってきた男』(小林秀雄賞)、A Genealogy of 'Japanese' Self-Imagesなど。



日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学, 講談社 (2019/7/17).



社会を変えるには, 講談社 (2012/8/17)

12月例会

日時 令和元年十二月六日(金)

テーマ デジタルエノノミーの帰結・ヨーロッパ経済における事例

講師 国際応用システム分析研究所主任研究官

リーナイルモラ氏

■ 略 歴

フィンランド アールト大学工学部卒業。ストラテジスト、研究者、経営コンサルタント等の多様な経歴を経て現職。専門は適応システム理論、戦略的計画理論等に基づく戦略的柔軟性と予測システム。

韓国科学技術政策研究所(STEPI)との“Seven Shocks”プログラム開発、フィンランド政府の「Futures Resolution」タスクフォース専門家としても活動。

日本、韓国、シンガポール、オーストリア、ドイツ、チェコ、アメリカ、フィンランドの多様な研究者によるグローバル組織 Global X-Networkの創始者のひとり。

リーナイルモラ氏



<https://globalxnetwork.com/>



International Institute for
Applied Systems Analysis



国際応用システム分析研究所 (IIASA)